

特別連載 Vol.27

権藤博氏ウイニングボール、 広野功氏代打逆転満塁サヨナラ本塁打達成バット

野球殿堂博物館では、過去から現在までの日本野球史にまつわる実物や写真類等の博物館資料4万点を収蔵しており、とりわけプロ野球、アマチュア野球で日本記録、世界記録等顕著な活躍をしたチーム、選手にまつわる資料を積極的に収集しています。今回は2015年11～12月に新たに当館のコレクションに加わった資料をご紹介します。

まず、権藤博氏(中日)の1961年35勝、1962年30勝のウイニングボールです。権藤氏は61年に中日入団、開幕2戦目(対巨人)で初登板初完投勝利を挙げました。同年は69試合に登板、429 1/3回を投げ、35勝、310奪三振、防御率1.70で各タイトルを独占し、新人王と沢村賞を受賞。その連投ぶりから「権藤、権藤、雨、権藤」と称えられました。シーズン35勝は現在もNPBの新人最多勝記録。翌年も30勝を挙げ最多勝を獲得しています。11月に雑誌の取材で当博物館にお越しになった際に、ご本人よりご寄贈いただきました。

次に、広野功氏(中日、巨人他)の代打逆転満塁サヨナラ本塁打の達成バットです。71年5月20日、対ヤクルト戦(福井県営)で2点差の9回裏無死満塁の場面に代打で登場、逆転満塁サヨナラ本塁打を放ちました。広野選手は中日入団年の66年にも逆転満塁サヨナラ本塁打を放っています。2度の満塁サヨナラ本塁打は青田昇、立浪和義、井口資仁の3選手も達成していますが、このうち「逆転打」は青田氏の2度目だけで、広

野氏の達成した2度の逆転満塁サヨナラ本塁打は史上唯一の記録です。12月15日にご本人が来館し、ご寄贈いただきました。権藤氏のウイニングボール、広野氏の代打逆転満塁サヨナラ本塁打達成バットは、常設展示「プロ野球の歴史」コーナーにて展示しています。ぜひご覧ください。

